



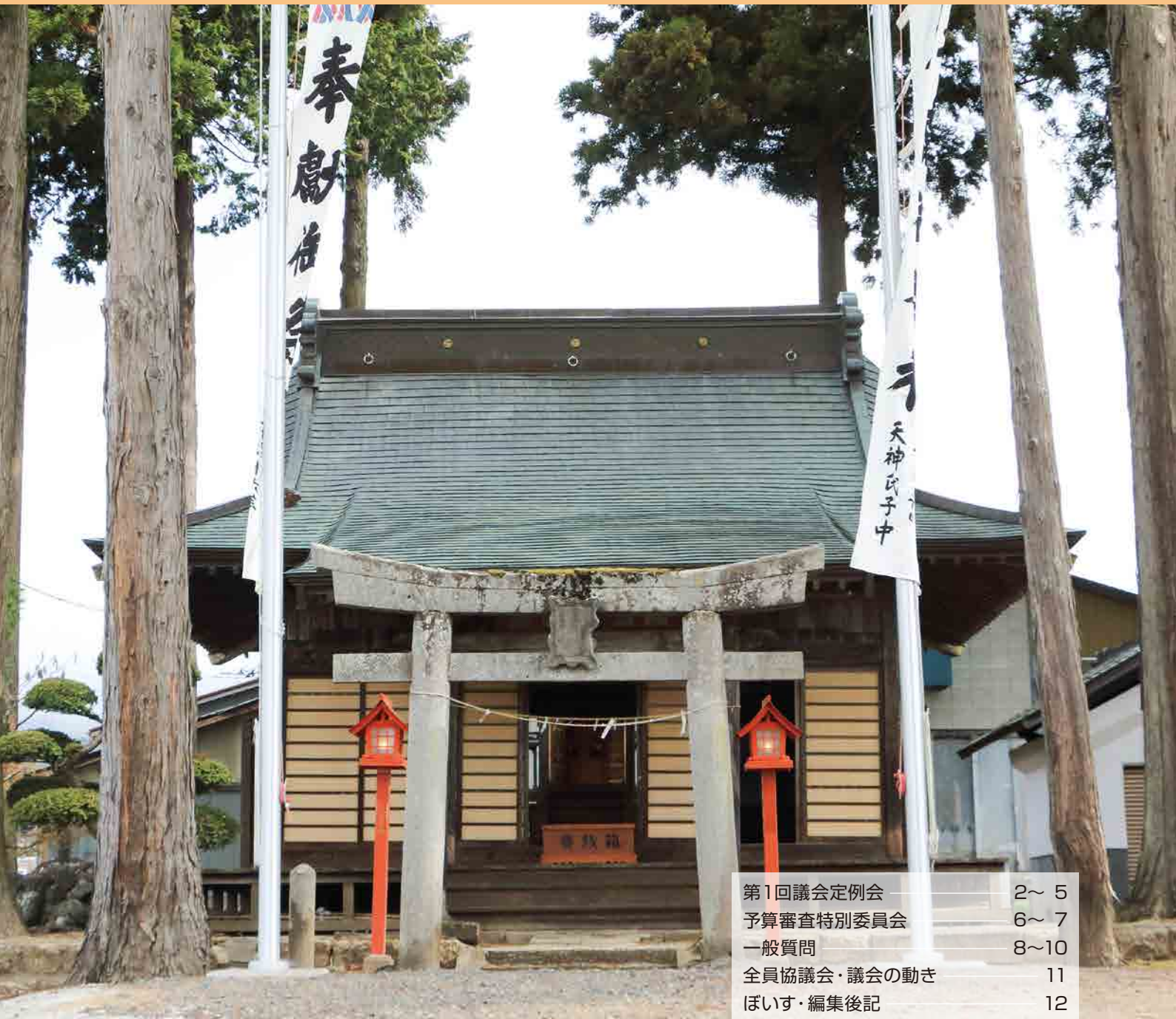
〔下川場神社〕天神地区
拜殿の額には「武尊神社」とあり、火災により消失した社殿などを大正6年9月に新築した際に、「武尊神社」から「下川場神社」に改称したのでそうです。（『川場村誌』より）
地区の安寧と発展を祈り、神社の境内に鎮座する氏神様



田園理想郷 時代

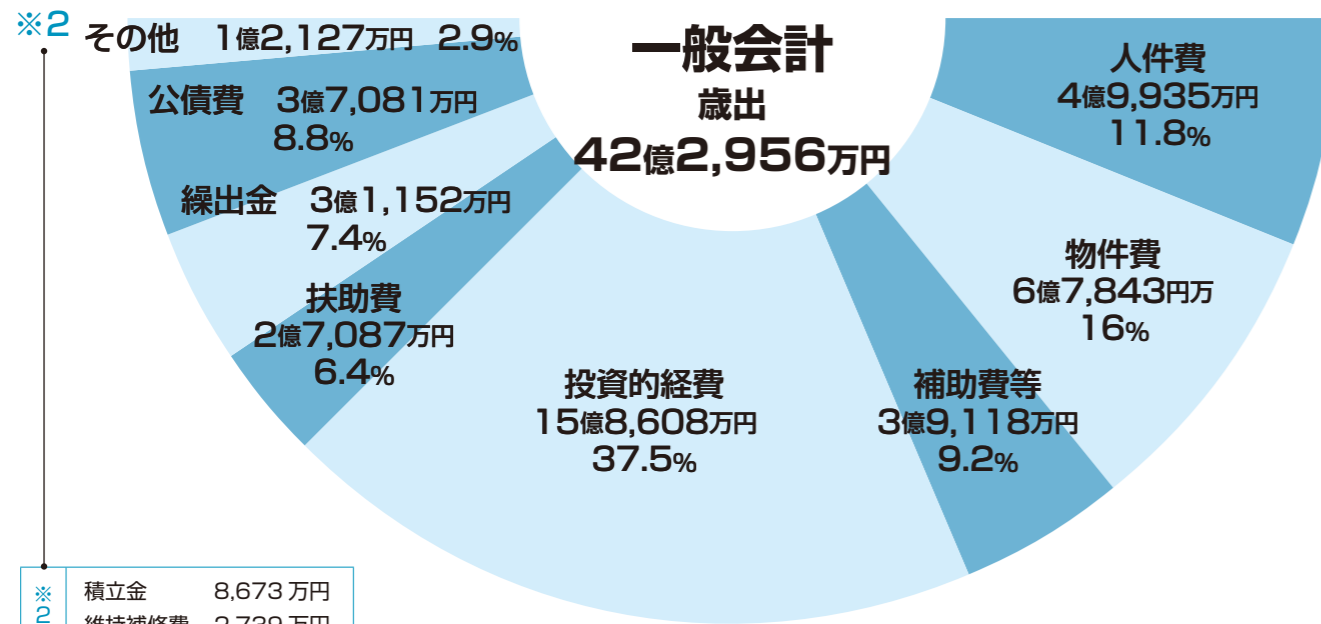
No. 16
2023.5.1

川場村議会広報
通巻第71号



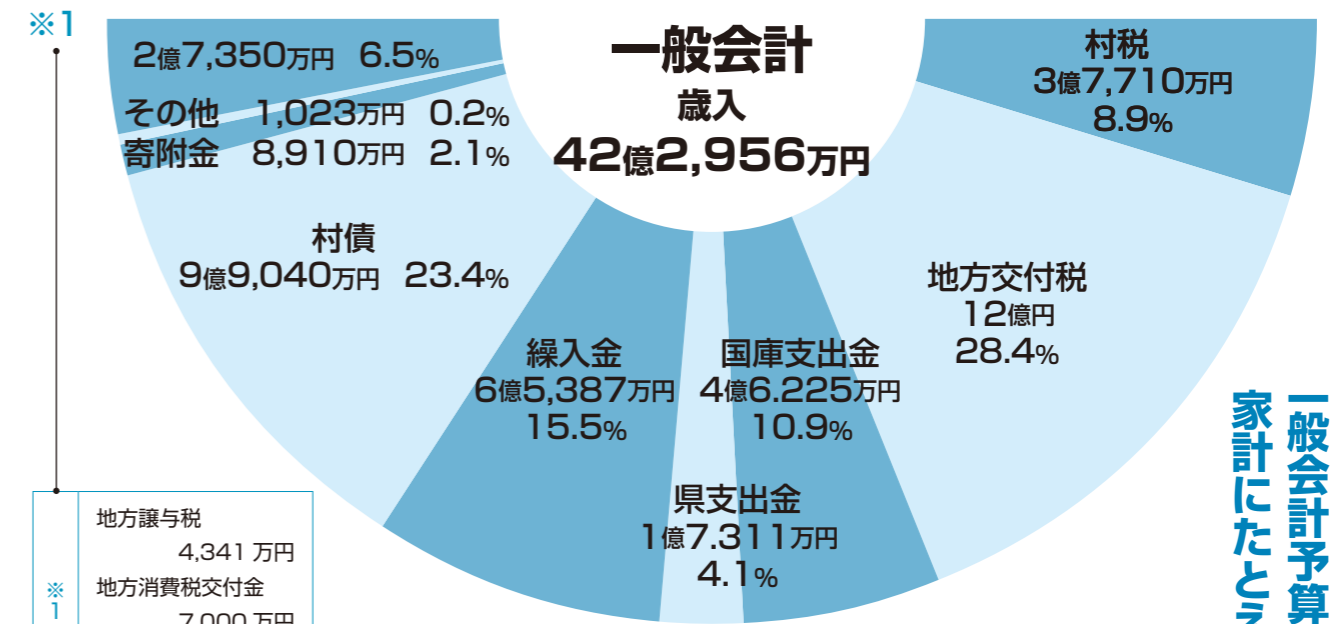
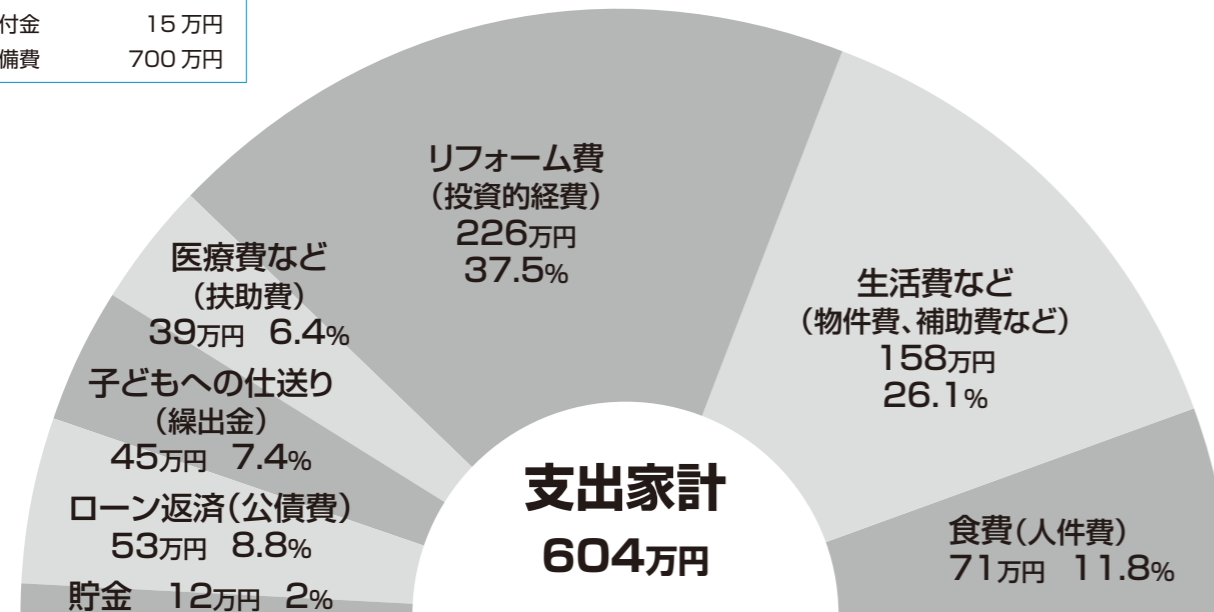
第1回議会定例会	2～5
予算審査特別委員会	6～7
一般質問	8～10
全員協議会・議会の動き	11
ぼいす・編集後記	12

3月7日(火) から14日(火) までの8日間



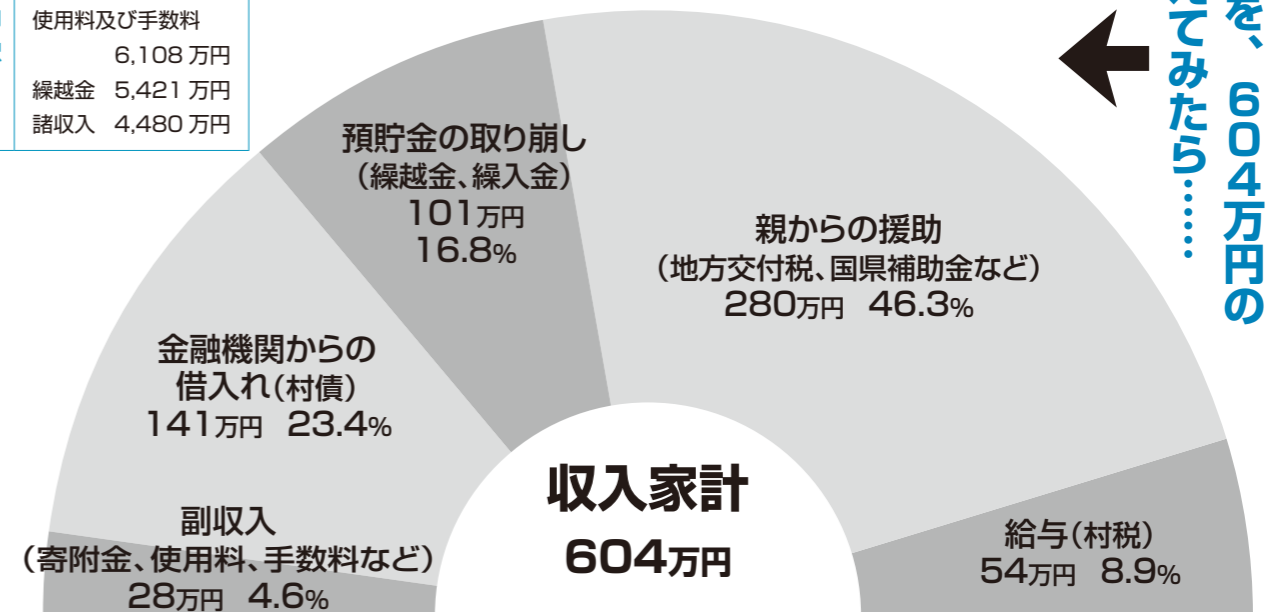
※2 内訳

積立金	8,673万円
維持補修費	2,739万円
貸付金	15万円
予備費	700万円



※1 内訳

地方譲与税	4,341万円
地方消費税交付金	7,000万円
使用料及び手数料	6,108万円
繰越金	5,421万円
諸収入	4,480万円



一般会計予算を、604万円の家計にたとえてみました……

令和5年度 会計別当初予算額 全て原案可決(全員賛成)

単位：千円

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較	
一般会計	4,229,555	3,622,280	607,275	16.8%
国民健康保険事業特別会計	434,782	428,095	6,687	1.6%
介護保険事業特別会計	470,020	494,501	△24,481	△5%
後期高齢者医療特別会計	96,634	95,509	1,125	1.2%
水道事業特別会計	44,487	69,165	△24,678	△35.7%
下水道事業特別会計	223,588	260,336	△36,748	△14.1%

令和5年度一般会計予算の総額は、42億2,956万円で、前年度対比16.8%の増額、特別会計5件の総額は、12億6,951万円で前年度比5.8%の減額となっています。

令和5年度の一般会計予算をわかりやすくするため、1/700(700万円を1万円)年間604万円の家計簿にしてみました。

川場村立義務教育学校設置条例 (義務教育学校の名称・川場村立川場学園)

令和5年3月議会定例会で、村長から提出された令和5年度当初予算6件のほか、人事1件、条例の制定1件、条例の一部改正11件、令和4年度補正予算6件、工事請負契約の変更2件、その他4件が原案のとおり可決となりました。

■人事

・人権擁護委員候補者に宮内栄子氏が再推薦されました。(天神) 任期は、令和5年4月1日から令和8年6月30日まで (全員賛成)

■条例

- ・川場村立義務教育学校設置条例
令和7年4月に開校予定の義務教育学校について、関係条例を設置するもの (義務教育学校の名称：川場村立川場学園) (全員賛成)
- ・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
消防団員の処遇改善に伴う報酬の見直しにより、条例の一部を改正するもの (団員：年額1万7千円増額) (全員賛成)
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

昨今の社会情勢、県内他団体の報酬等を考慮し、議員報酬及び費用弁償等に関する条例を一部改正するもの (議員：月額3万円増額) (全員賛成)

- ・川場村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・川場村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
フレックスタイム制及び休憩時間制度の柔軟化に関して、人事院規則が改正されたことから、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法の一部改正に伴い、60歳超の職員に係る昇給抑制について規定するため、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
給料表の見直しに伴い、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村国民健康保険条例の一部を改正する条例
国民健康保険施行令の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げ、5割軽減及び2割軽減対象世帯の対象世帯に係る、所得判定基準が改正されたため、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給について40・8万円を48・8万円に引き上げることから、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
川場村福祉医療「子ども医療費の対象拡大」の実施に伴い、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・令和4年度川場村下水道事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ21万1千円を減額し、総額を2億6314万6千円としたもの (全員賛成)

- ・川場村子育て支援金支給条例の一部を改正する条例
第1子及び第4子の支援金支給額を見直し、子育て支援策の充実を図ることから、条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- ・川場村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
群馬県小口資金融資促進制度要項の改正に伴い、条例の一部を改正するもの (全員賛成)

■補正予算

- ・令和4年度川場村一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出それぞれ2億1526万円を減額し、総額を40億6772万9千円としたもの (全員賛成)
- ・令和4年度川場村国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ46万円を追加し、総額を4億5131万9千円としたもの (全員賛成)
- ・令和4年度川場村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ2109万7千円を減額し、総額を4億8700万8千円としたもの (全員賛成)
- ・令和4年度川場村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ334万3千円を減額し、総額を9605万3千円としたもの (全員賛成)
- ・令和4年度川場村水道事業特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ568万4千円を減額し、総額を6465万円でしたのもの (全員賛成)

■工事請負契約の変更

- ・工事請負契約の変更(令和3年度川場村むらの学習館建設工事)
家具類の追加及びAV機器の導入に伴い、契約金額を増額するもの (全員賛成)
- ・工事請負契約の変更(令和3年度川場村交流ホール建設工事)
家具類の追加及びフラインドの追加に伴い、契約金額を増額するもの (全員賛成)

■その他

- ・村道路線の廃止
上宿原土地改良事業完了に伴い、村道路線を廃止するもの (全員賛成)
- ・村道路線の認定
上宿原土地改良事業完了に伴い、村道路線を認定するもの (全員賛成)
- ・群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議
令和5年4月1日から1団体加入、名称変更する団体が2団体あるため、数の増加及び規約を変更するもの (全員賛成)
- ・群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議
令和5年4月1日から1団体加入、名称変更する団体が1団体あるため、数の増加及び規約を変更するもの (全員賛成)

予算審査 特別委員会

新年度財政を徹底チェック

3月9日(木)、特別委員会室において開催され、黒田まり子委員長の進行により、令和5年度川場村一般会計予算と5件の特別会計の予算が審査されました。長時間にわたって多数の質疑が行われました。

ここに掲載されている質疑は全体から抜粋した一部です。紙幅や読みやすさなどを考慮し、言い回しの調整などを行っています。

令和5年度 川場村一般会計

歳入

【津久井俊雄委員】 財政の硬直化がますます進まれると思うが、将来的に公債費比率はどのくらい上がるのか。

【総務課長】 公債費のピークを迎えるのが、小中一貫校の整備が終わる令和7年度となります。ピークとなるときの金額が3億7580万円ほど。今年度と比べておよそ500万円増額になると思われます。実質公債費率は令和3年度が8.4%、令和4年度は9.7%になると想定しています。

【津久井俊雄委員、細谷市衛委員、星野孝之委員、新木敏郎委員】 観光使用料200万円減額の理由は。

【むらじゅり振興課長】 コロナ感染の関係で、スポーツ施設の使用者が減ったため、それを見込んで歳入予算を減額しております。

【黒田まり子委員】 子どものための教育・保育給付費負担金の内容は。

【健康福祉課長】 かわは森のごも園につきまして、幼稚園部が7名、保育園が92名、広域入所で沼田の方が4名、全部で100名です。

【黒田まり子委員】 児童手当交付金の内容は。

【健康福祉課長】 延べ3837名、年に3回児童手当が支給されまして、6月と10月と2月に支給しています。

【黒田まり子委員】 出産・子育て応援交付金の内容は。

【健康福祉課長】 伴走型相談支援につきましては、妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じることになっております。経済的支援ですが妊娠届、出生届を提出したとき、申請に基づきそれぞれ5万円を支給するものです。

【黒田まり子委員】 特別支援教育就学奨励費補助金の内容は。

【教育委員会事務局長】 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するために、国が地方公共団体の支弁する経費の2分の1の額を補助するものです。

【丸山敏雄委員】 市町村乗合バス運行費補助金、前年度比減額の理由は。

の用途は。

【総務課長】 毎年、事業費上限2000万円でコミュニティ協会から補助金が交付されるもので、川場村では地区順に整備に活用しています。令和5年度は秋室地区の集会所のエアコン及びLED電球の整備をするものです。

【細谷市衛委員、新木敏郎委員、丸山敏雄委員】 スズメバチの駆除の補助金の実績と今年の予定は。

【総務課長】 令和4年度の実績が11件、令和5年度は15件分を見込んでいます。

【星野孝之委員】 世田谷区派遣職員人件費負担金は。

【総務課長】 新庁舎建設に当たって世田谷区から職員を派遣していただいております。令和5年度も引き続き職員を派遣していただくものです。

【星野孝之委員、新木敏郎委員】 Wi-Fiルーター利用料、新庁舎のネット環境は。

【総務課長】 利用料については、総務課の窓口でマイナポイントの付与事務をしておりますが、その事務用パソコンのWi-Fiとなりまして、新庁舎ではフリーWi-Fiを考えていますが、どの程度、どの範囲でというのが検討中です。

【黒田まり子委員、星野孝之委員】 地域おこし協力隊委託料の内容は。

【むらじゅり振興課長】 韓国から大学生のインターンシップ受入を支援する人材を、地域おこし協力隊として採用し、業務委託するものです。今後インバンドも増えますので、海外との交流や関係人口拡大

【黒田まり子委員】 子どものための教育・保育給付費負担金の内容は。

【健康福祉課長】 かわは森のごも園につきまして、幼稚園部が7名、保育園が92名、広域入所で沼田の方が4名、全部で100名です。

【黒田まり子委員】 児童手当交付金の内容は。

【健康福祉課長】 延べ3837名、年に3回児童手当が支給されまして、6月と10月と2月に支給しています。

【黒田まり子委員】 出産・子育て応援交付金の内容は。

【健康福祉課長】 伴走型相談支援につきましては、妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じることになっております。経済的支援ですが妊娠届、出生届を提出したとき、申請に基づきそれぞれ5万円を支給するものです。

【黒田まり子委員】 特別支援教育就学奨励費補助金の内容は。

【教育委員会事務局長】 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するために、国が地方公共団体の支弁する経費の2分の1の額を補助するものです。

【丸山敏雄委員】 市町村乗合バス運行費補助金、前年度比減額の理由は。

を見据えての事業となります。

【新木敏郎委員】 固定資産税更新業務委託料が増額となっているが内訳は。

【住民課長】 令和5年度につきましては、例年の作業のほかに国土調査の成果が登記されるようなので、前年当初に比べ業務量が増大し、1500筆分を予算計上させていただきますました。

【新木敏郎委員】 介護予防支援サービス計画作成業務委託料が増額となっているが内訳は。

【健康福祉課長】 包括支援センターの介護支援専門員が来年度1人減となります。介護予防支援計画等を作成しなければいけませんので、その分を外部の居宅支援事業に委託する関係で増額となっています。

【黒田まり子委員、細谷市衛委員】 川場村社会福祉事業の委託料の増額となっているが内訳は。

【健康福祉課長】 7年以上前から、委託金額について見直しを実施しておりませんでした。業務量、事務量、委託内容をいろいろ検討しました。また人件費についても検討し、見直しが必要であることから、今回500万円を増加しました。

【新木敏郎委員】 老人保護措置費事務委託料の内容は。

【健康福祉課長】 生活保護の対象にならなない困窮している低所得の方、身寄りがなく生活に困ってしまっって行き場がない方について、措置を愛宕老人ホームに委託するものです。

【黒田まり子委員】 周産期医療維持費負

【むらじゅり振興課長】 令和4年度につきましては、バスにICカードの読み取り機を設置する事業の補助金収入がありました。令和5年度その事業がありませんので、減額となっています。

【黒田まり子委員】 群馬県の移住支援事業補助金における、本村の移住推進対策は。

【むらじゅり振興課長】 国が進めております移住支援対策の事業で、国が2分の1、県が4分の1、市町村が4分の1負担して移住の支援をするものです。本村の移住対策ですが、地方創生交付金を活用して、ウェブ上で紹介できる空き家情報の整備や、窓口相談や受入支援の態勢を一層整えていきたいと思えます。

【黒田まり子委員】 若年がん患者在宅療養支援の内容は。

【健康福祉課長】 本年度新規事業となります。若年がん患者が住み慣れた自宅ですらしく過ごせるような患者または家族の負担軽減をする対策です。

【細谷市衛委員】 地域福祉基金の繰入金の内訳は。

【総務課長】 地域福祉計画の作成に265万1千円。障害福祉計画に346万5千円。健康増進計画に275万円。この3つの計画を令和5年度で作成するために、この基金を取り崩してその費用に充てるも

担金の内容は。

【健康福祉課長】 利根沼田広域圏内の病院、診療所等において通常分娩を行う産婦人科の医師が不足してきており、産婦人科医師の確保のため、各市町村で財政支援を実施するものです。

【新木敏郎委員】 若年がん患者在宅療養支援事業の内容は。

【健康福祉課長】 39歳以下のがん患者の方に訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与、福祉用具の購入、ケアプランの作成等に要する費用について負担をするものです。

【黒田まり子委員】 建設測量設計管理委託料の事業予定地は。

【田園整備課長】 長久保地区農道作業道の舗装、上溝又門前西の水路、生品高野原農作業道の舗装、谷地、中野、秋室地区の給水塔を3基予定しています。

【津久井俊雄委員】 川場村鳥獣捕獲奨励金の捕獲頭数は。

【むらじゅり振興課長】 令和4年度の捕獲頭数につきましては、有害捕獲と狩猟捕獲、合わせて178頭です。

【星野孝之委員】 川場村木質バイオマス燃料利用促進事業補助金の内容は。

【むらじゅり振興課長】 二酸化炭素の低減による地球温暖化の防止対策に寄与するために木質チップを利用したバイオマスボイラーを使う場合に木質チップを燃料として購入する際の1立米当たり1500円を補助するものです。

【津久井俊雄委員】 県単治山事業費負担

のです。

【飯塚貞次委員】 物価が上昇していく中で給食費の見直しは。それと無償化はいつ頃から。

【教育委員会事務局長】 賄い材料費については材料費の高騰により、昨年当初予算よりも約6%増額し計上しました。給食費の値上げをすることなく、質を落とさないで子供たちに提供できるように、村費を賄い材料費に充当した予算編成を組んでおります。

無償化について、現在、小中学校在籍の第3子、または第2子以降の給食費の無料化について試算等を行って検討をしているところです。

歳出

【新木敏郎委員】 「全国小さくても輝く自治体フォーラムの会」の概要は。

【総務課長】 全国の自立を目指す小規模自治体が集まって、今後の村づくり地域づくりについて勉強、研究しているというのが目的となっています。全国では50団体が参加しています。群馬県内ですと7つの団体が参加しています。

【黒田まり子委員】 群馬県市町村振興協会魅力あるコミュニティ助成事業補助金

金の事業箇所は。

【むらじゅり振興課長】 工事場所につきましては、門前2か所と生品1か所です。木賊の災害箇所につきましては、災害復旧事業で要望しております。

【細谷市衛委員】 かわたんグッズでの前年の売上げと在庫は。

【むらじゅり振興課長】 前年度の売上げが、8種類のかわたんグッズ全部で、48万1千円です。来年度中に在庫がなくなる物の追加分として予算計上しています。

【細谷市衛委員】 観光施設の修繕工事の場所は。

【むらじゅり振興課長】 場所は決まっていますが、即対応が必要な施設修繕の費用として計上しています。

【津久井俊雄委員】 住宅リフォーム助成金の内容は。

【田園整備課長】 村内施工業者によって実施される、殆どの改修工事が該当になります。工事費の10%以内。限度額20万円です。

【細谷市衛委員】 イングリッシュキャンプセミナーの補助金内容は。

【教育委員会事務局長】 中学3年生がスターバリーの派遣が可能となれば、イングリッシュキャンプについては中学2年生、セミナーについては中学1年生を対象に実施したいと考えております。ただ、渡米できない場合には、今年度と同じでキャンプを3年生、セミナーについては2年生で考えております。



公有地取得後の活用計画

津久井議員 川場牧場、桐ノ木平リンゴ園地、黒岩の開墾などは、高度成長期に活用が期待された山岳農地でした。しかし、長年の努力にもかかわらず、高齢化、福島原発、農業後継者離れで組織が弱体化し、経営難と各組合からの要望で、外部資本の標的と乱開発をされぬよう村当局は買い取ってくれました。また、合併による農協跡地は、村の中心に存在することから村当局が、将来を見据え買収しました。今後、牧場など山岳農地をどのように活用していくのか、また村の中心である農協跡地はどのように地域振興に役立てていくのか、お伺いします。

村長 本村では、森林環境や国土保全、景観形成の促進、あるいは無秩序な乱開発の防止を目的として、さらには資産として有効に活用していくため、まとまった土地を取得するという事業を行っています。川場牧場の跡地につきましては、無作為に放置することなく、自然環境を保全していく観点から、村が取得をし、現在は村営の川場牧場として管理を行っています。敷地のエリアの中でも山林の部分につきましては、今後も山林として整備をしますが、放牧地部分につきましては、福島第一原発事故以来、

放射線量低減に長期間を要し、牧草地としての再生が望めない現状があります。取得をしました広大な土地の有効な活用方法を検討する中で、敷地のうちの5ヘクタールについては、自然エネルギーを生み出す施設整備の一環として太陽光発電施設を整備することとなっています。

川場村果樹栽培組合から譲り受けました土地につきましては、水源地の保全という観点から、森林に再生していくのが最善であるという考えのもと、検討を行ったところ、大手ゼネコンの清水建設株式会社より、環境保全分野における社会貢献活動の一環として、また社員の啓蒙活動の一環として、土地を借り受け、植林及び育林活動を行いたいとの申し入れがあり、敷地の一部3万7千平米について、賃貸借契約を締結し、昨年10月31日に同社社員等約50名が参加をして、第1回目の植林作業を行ったところでした。

また、黒岩地区に取得をしました山林につきましては、かつてゴルフ場開発の話が持ち上がった際に、一部県外企業等に所有権が移っていたところを森林として保全をしていくため、村が取得したものです。その後の活用としましては、主に杉の立木が伐期を迎えていることか

ら、木材の有効活用手段として、伐採した木材を役場庁舎の建築材として活用しています。また、伐採後には、林業成長産業化モデル事業を活用し、初期成長の早い苗木を植林したり、獣害対策の措置を試験的にを行い、検証しています。森林管理として、適正な時期に伐採して木材を有効活用し、その後は適正に植林をしていくことで、長期的な森林保全や国土保全につながることも、森林が持つ役割の1つであります。二酸化炭素の吸収効果を促すことにつながっていきます。

農協の跡地利用につきましては、平成26年に取得以来、村の中心地に位置することから、いかにして有効に活用できるかを慎重に検討してきました。その活用方法とし

コンビニ誘致

津久井議員 村内では、高齢者が増え免許証を返納、人を頼らなければ日用品を買うことができない、子供や若い人も不便で、1日も早くコンビニが欲しいと言われています。村長ご自身、場所、オーナーを探していることを、私も耳にしています。現在の状況を教えてください。

村長 村としては、一刻も早い誘致をしたいと努力を行っています。村有地の提供や候補地として数か所を管理事業者にお示しをして、出店を促しました。しかし、企業側の出店基準や採

ては、住宅用地として分譲していくことを検討しています。川場村土地開発公社の事業として行いました「かわばニュータウン」分譲事業では、一般住宅用地も完売し、人口の増加につながっています。農協跡地も、村の中心地にあり、小中一貫校への移行が予定をされている学校にも近いなど、村の中では住環境に恵まれた場所であることから、住宅用地として需要が十分見込まれることと考えられます。村民の要望に応え、人口の増加につながる活用方法として、引き続き検討していきたいと考えています。

いずれの場合におきましても、村にとりましては限られた貴重な財産ですので、村民の幸福につながるような、あるいは川場村の未来につながるような財産の活用を考えています。

算ベースの問題もあり、実現に至っていないのが現状です。

昨年秋季、出店希望企業より、立地内に有力候補地を見つけたので、地権者と交渉し了承を得たので、手続を行いたいとの連絡を受けています。

候補地は農振農用地に指定されているため、これから正式に手続に入りたいとのことでしたが、つい先日3月1日付で、農用地区域からの除外申請を受け付けたところです。

村としても、一刻も早く開業できるよう、側面から支援を行いたいと考えています。

村政を問う 一般質問

黒田まり子



外山村政2期8年の総括と3期目を目指す政策課題と展望

黒田議員 2期8年の総括と新たな4年間に向けた村長の展望と重要課題はどのようなものでしょうか。

村長 就任後、平成30年2月に川場国際自然文化サミットにて、「川場村の30年ビジョン」を発表しました。

その主要な内容は、第1番目に地方創生事業として川場村新拠点構想を計画し、百年先を目指して村の中心地をつくるもので、現在進めている役場新庁舎、交流ホール、村の学習館、エネルギーセンターなどで本年秋には完成させ稼働を実現したいと考えています。

第2番目は、ふるさと人材（グローバル人材）育成構想の推進。一体型小中一貫校へ移行し6・3制の教育制度を70年ぶりに改定する大改革を目指すものであります。令和7年4月に新校の開校を目指します。

第3番目は、林業資源高度活用、木材コンビナート事業、木質バイオマス利用、森林サービス産業推進などであり、これらは計画された施設整備が終了し、実用段階に入りました。長年衰退していた林業産業を復活させ戦後植林し伐期を迎える木材の有効活用を図るものです。これらの事業実施により、林地の環境保全

を図り、災害の防止や獣害対策としても効果を上げたいと思っています。このほか、工場誘致などによる雇用の場の確保、新住宅団地の整備、子育てのための各種施策の実施、福祉政策の充実などにより、全村民幸福の村を目指していますが、いまだ理想の村を実現できたとは思っていません。

70年ぶりの教育制度の大改革、百年先を見据えた新拠点構想の推進などは、施設ができたからといって完成するものではありません。魂を入れ、心の通ったものとしなければなりません。

3期目当選の暁には、これらを実現するため誠心誠意努力を重ね、村民の幸福、川場村の発展を目指したいと考えています。

黒田議員 令和5年度予算編成の基

村長 本村の財政状況は、令和3年から前年度繰越金を除いた単年度収支は1812万円、実質単年度収支は1814万円とともに黒字ですが、決して楽観視できるものではなく、令和2年度から令和5年度にかけて拠点整備事業に約40億円が投入されています。このように、本村の財政状況は、これまで経験したこと

ない極めて厳しい状況に直面していることから、事業の緊急度や優先度を見極め、全ての歳出経費をゼロペー

スから見直す必要があります。令和5年度予算編成では、財政規律を遵守した健全財政を基本とし、全ての事業において、現状を評価し、村民にとって真に必要なサービスが提供できているか、成果が得られているか等、成果重視の視点から見直し、予算編成をしました。

役場新庁舎建設事業に国の進める二酸化炭素抑制対策事業を取り入れ、また、子育て応援事業など、国の少子化対策にも取り組んでいます。役場庁舎関係事業において約10億円、小中一貫校整備事業に約4億円を計上し、予算の約35%が普通建設事業費に充てられています。経済状況を鑑み、議員報酬及び消防団員の報酬を増額し、出産に伴う子育て支援金や出産・子育て応援交付金、さらには高校生世代の医療費の無料化など、ソフト事業の充実にも取り組んでいます。

黒田議員 村民の中には新庁舎や小中一貫校に大変期待している声が大きいですが、それと同時に不安を抱えて、どうなっていくのだろうと心配している村民の方も多

いと思います。情報公開を進め冊子



村政を問う 一般質問

津久井 俊雄

津久井議員 川場牧場、桐ノ木平リンゴ園地、黒岩の開墾などは、高度成長期に活用が期待された山岳農地でした。しかし、長年の努力にもかかわらず、高齢化、福島原発、農業後継者離れで組織が弱体化し、経営難と各組合からの要望で、外部資本の標的と乱開発をされぬよう村当局は買い取ってくれました。また、合併による農協跡地は、村の中心に存在することから村当局が、将来を見据え買収しました。今後、牧場など山岳農地をどのように活用していくのか、また村の中心である農協跡地はどのように地域振興に役立てていくのか、お伺いします。

村長 本村では、森林環境や国土保全、景観形成の促進、あるいは無秩序な乱開発の防止を目的として、さらには資産として有効に活用していくため、まとまった土地を取得するという事業を行っています。川場牧場の跡地につきましては、無作為に放置することなく、自然環境を保全していく観点から、村が取得をし、現在は村営の川場牧場として管理を行っています。敷地のエリアの中でも山林の部分につきましては、今後も山林として整備をしますが、放牧地部分につきましては、福島第一原発事故以来、

放射線量低減に長期間を要し、牧草地としての再生が望めない現状があります。取得をしました広大な土地の有効な活用方法を検討する中で、敷地のうちの5ヘクタールについては、自然エネルギーを生み出す施設整備の一環として太陽光発電施設を整備することとなっています。

川場村果樹栽培組合から譲り受けました土地につきましては、水源地の保全という観点から、森林に再生していくのが最善であるという考えのもと、検討を行ったところ、大手ゼネコンの清水建設株式会社より、環境保全分野における社会貢献活動の一環として、また社員の啓蒙活動の一環として、土地を借り受け、植林及び育林活動を行いたいとの申し入れがあり、敷地の一部3万7千平米について、賃貸借契約を締結し、昨年10月31日に同社社員等約50名が参加をして、第1回目の植林作業を行ったところでした。

また、黒岩地区に取得をしました山林につきましては、かつてゴルフ場開発の話が持ち上がった際に、一部県外企業等に所有権が移っていたところを森林として保全をしていくため、村が取得したものです。その後の活用としましては、主に杉の立木が伐期を迎えていることか

ら、木材の有効活用手段として、伐採した木材を役場庁舎の建築材として活用しています。また、伐採後には、林業成長産業化モデル事業を活用し、初期成長の早い苗木を植林したり、獣害対策の措置を試験的にを行い、検証しています。森林管理として、適正な時期に伐採して木材を有効活用し、その後は適正に植林をしていくことで、長期的な森林保全や国土保全につながることも、森林が持つ役割の1つであります。二酸化炭素の吸収効果を促すことにつながっていきます。

農協の跡地利用につきましては、平成26年に取得以来、村の中心地に位置することから、いかにして有効に活用できるかを慎重に検討してきました。その活用方法とし

コンビニ誘致

津久井議員 村内では、高齢者が増え免許証を返納、人を頼らなければ日用品を買うことができない、子供や若い人も不便で、1日も早くコンビニが欲しいと言われています。村長ご自身、場所、オーナーを探していることを、私も耳にしています。現在の状況を教えてください。

村長 村としては、一刻も早い誘致をしたいと努力を行っています。村有地の提供や候補地として数か所を管理事業者にお示しをして、出店を促しました。しかし、企業側の出店基準や採

ては、住宅用地として分譲していくことを検討しています。川場村土地開発公社の事業として行いました「かわばニュータウン」分譲事業では、一般住宅用地も完売し、人口の増加につながっています。農協跡地も、村の中心地にあり、小中一貫校への移行が予定をされている学校にも近いなど、村の中では住環境に恵まれた場所であることから、住宅用地として需要が十分見込まれることと考えられます。村民の要望に応え、人口の増加につながる活用方法として、引き続き検討していきたいと考えています。

いずれの場合におきましても、村にとりましては限られた貴重な財産ですので、村民の幸福につながるような、あるいは川場村の未来につながるような財産の活用を考えています。

算ベースの問題もあり、実現に至っていないのが現状です。

昨年秋季、出店希望企業より、立地内に有力候補地を見つけたので、地権者と交渉し了承を得たので、手続を行いたいとの連絡を受けています。

候補地は農振農用地に指定されているため、これから正式に手続に入りたいとのことでしたが、つい先日3月1日付で、農用地区域からの除外申請を受け付けたところです。

村としても、一刻も早く開業できるよう、側面から支援を行いたいと考えています。

等により計画やお金の使い方を説明するなど、村民と情報を共有していくお考えはありますか。

村長 3200人の川場村が、百年先も川場村として残るようには、ここは、役場庁舎の中心として、しっかりしたものをつくり、それを子や孫に継承していく必要があります。しっかりとしたものをつくらなければ、まずは村民に見ていただき使っていただき、それが、日本においての地方創生の基だと思っていますので、これは無駄な投資ではないと考えています。

公開につきましては、まだ今のところ全て公開することにはまだ至っていないところですので、今後議論を重ねて、お示しできる場所は村民と共有する必要がありますので、前向きに検討したいと思っています。



小中一貫校について

星野議員 未来の村づくりにおける一貫校の役割、一貫校の教育理念、特色ある学校づくりに向けての取組、求められる教職員像について、これを踏まえて、ハード、ソフト両面からの現在の進捗状況をお聞かせください。

教育長 小中一貫校開校に向けたソフト、ハード面からの進捗状況についてですが、令和3年3月の議会で議決いただきました「川場村小中一貫基本構想」に沿って、現在準備を進めているところで

まず、ソフト面につきましては、今年度は、本村が目指す教育の方向性や教育理念等について研修を深めてまいりました。具体的には、先進的な取組をしている長野県大町市立美麻小中学校を、教育委員や小中学校教職員、学校運営協議会委員、社会教育委員、地域学校協議会活動推進委員など、延べ23人が、計4回、視察を行うとともに、現地の学校地域協働コーディネーターを講師として本村にお招きし、講演会を開催いたしました。

校舎の使い方などについて幅広く議論をしていただきました。特に、新たな学校の校名につきましては、公募の中から、候補として6点を選び、教育委員会を経て、2月21日に開催された川場村総合教育会議において、候補の中から、知名度の高さや親しみやすさ、言いやすさなどの理由により、漢字表記の川場学園という名前を選定していただき、それを盛り込んだ設置条例を本議会に上程させているところで

このほか、小中合同運動会や小学校における保護者説明会等を実施し、法令上は義務教育学校となりませんが、小中一貫校への理解を深めていただきました。

なお、先進校の取組などを基に作成し、検討しました本村が目指す教育の方向性や教育理念等につきましては、群馬県がこの4月より新たに定める予定である非認知能力を育成するための実践研究と極めて近いことから、本村の小学校と中学校がそのモデル校として、群馬県教育委員会より指定を受けることになり、研究推進のための教員を1人特別に配置することが、既に確定しています。

この指定を絶好のチャンスと考え、県教育委員会の指導をいただきながら、本村で目指す教育について

の研修を一層深めるとともに、この4月より、事務局内に開校準備室を開設し、授業の進め方や各種行事等の持ち方など教育課程の編成や、教職員組織の在り方などの研究を進めたり、また、保護者や地域の方々への広報にも努めたいと考えています。あわせて、制服の検討や、新しい学校の校歌・校章の策定などにも順次取り組み、令和7年4月の開校に向けて万全な態勢で準備を進めていきたいと考えています。

一方ハード面につきましては、校舎建築工事設計業務委託について、昨年の7月13日に契約を結び、校舎の増築及び改修に向けて準備を進めています。特に建築用資材や物価が高騰している中で、校舎としての機能を維持しながら、どのように建築費を抑えていくか慎重に検討を重ねた結果、現時点での総事業費は、約10億2千万円を見込んでいます。

また、小中学校の管理職も含めた打合せを行い、工事中の児童の安全や学校行事等の持ち方等について、十分に配慮した工事のスケジュールや作業エリアとなるよう協議し、現在建築確認を申請しています。

スケジュールとしては、令和5年12月に着工し、令和6年12月の完成を予定しています。また工事期間中は、校舎の一部が使用できなくな

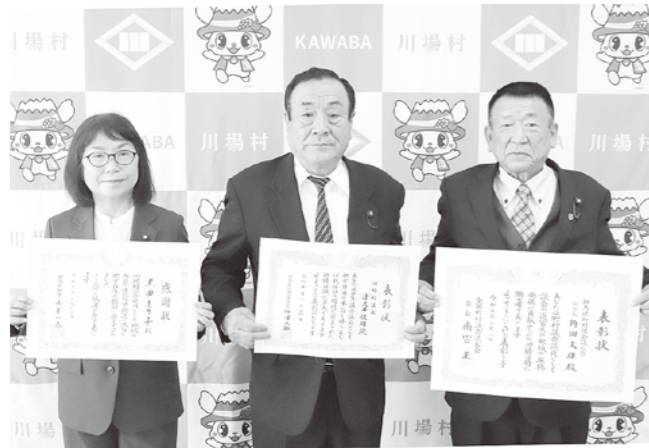


るなど、子供の活動できる範囲が狭まってしまいう期間があります。子供の安全を第一とした工事施工となるよう計画しています。以上、令和7年4月に開校予定の義務教育学校の進捗状況等につきまして申し述べましたが、議員各位の深いご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県町村議会議長会定期総会

本村議会から3名の議員が表彰されました

令和5年2月14日（火） 場所：群馬県市町村会館



定期総会では、全国町村議会議長会の町村議会表彰及び自治功労者表彰の報告、並びに群馬県町村議会議長会表彰及び群馬県知事感謝状の贈呈報告が行われました。

本村議会からは、全国町村議会議長会の町村議会議員として、議会の運営及び地域の発展に特に顕著なる功労のあった者として角田文雄議長、群馬県町村議会議長会より議員10年以上在職者として津久井俊雄議員が表彰され、群馬県知事より市町村自治功労者として黒田まり子議員に、感謝状が贈呈されました。また、令和5年度予算並びに事業計画がそれぞれ承認されました。

川場村議会 全員協議会

令和5年3月6日（月）に全員協議会を開催し、村長・副村長・教育長及び担当課長出席の下、十分な検討・説明を受けました。

- 1. 令和5年度川場村一般会計予算(案)について
2. NTT光ケーブルの譲渡について
3. 川場村義務教育学校設置条例について



議会の動き

- 2月 1日 川場村廃棄物減量等推進審議会
8日 田園プラザ取締役会
10日 利根郡町村議会議長会定例会
12日~14日 議会視察研修
21日 議会運営委員会
22日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
25日 利根沼田地域文化フェスティバル
28日 川場村上下水道運営協議会
3月 6日 議会全員協議会
7日 第1回議会定例会(初日)
9日 予算審査特別委員会
13日 川場中学校卒業式
14日 第1回議会定例会(最終日)
17日 萩室獅子舞千種楽
18日 村民文化講演会
20日 ぬまた聖苑焼骨灰供養式
21日 ぬまた駅伝大会

- 22日 慶祝訪問
23日 川場小学校卒業式
24日 川場村土地開発公社理事会
25日 昭和村役場新庁舎落成式
28日 かわば森のこども園卒園式
4月 3日 かわば森のこども園入園式
5日 川場村建設業協会通常総会
6日 川場村婦人会総会
7日 川場小学校入学式
11日 利根郡町村議会議長会決算監査
13日 議会広報特別委員会
26日 雨乞山山開き
28日 川場村鳥獣慰霊祭

「一度は駐在所で生活してみたい。」 川場村と私の不思議な縁

沼田警察署 川場駐在所

入沢秀行さん

川場村の皆さんこんにちは。沼田警察署 川場駐在所の入沢秀行です。
今年の4月から川場駐在所勤務となり、妻と2人で着任いたしました。

私と川場村とは不思議な縁がありまして（私が勝手に思っているだけですが）、始めは、平成22年度の第34回国育樹祭に皇太子殿下がご臨場された際、警衛警備の計画策定に従事し、何度も川場村を訪れ、役場の方や村の方々に大変お世話になりました。中でも、皇太子殿下のお食事と同じ御飯を事前に頂け、そのお米のおいしさがとても印象的でした。



その翌年（東日本大震災の数日前）には沼田警察署地域課勤務となり、僅か一年間の在任ではありましたが、その間、村内の温泉、スキー場、釣り、夏の花火大会と、家族で楽しませていただきました。

また、かつて川場駐在所に長く勤務した布施川功さん（自称：川場の小栗旬？）は、私の警察学校時代の部屋長であり、師匠でもあります。布施川さんからも「川場村はいいところだぞ。」と常々聞かされておりました。

そして今回、初めて駐在所勤務となれるチャンスが訪れたことから、迷わず川場駐在所を希望して、勤務させていただくことになりました。

実は、私の妻も昔から「一度は駐在所で生活してみたい。」と希望しておりましたので、警察官としての最後を、夫婦でここ川場駐在所で飾れることになったのです。

川場村は、豊かな自然の中にも多くの観光客が集まる人気の道の駅があり、お米や果物を始めとした美味しい食べ物や沢山あり、そのほかにも数々の名所、レジャー施設ありと、数え切れない魅力が凝縮されています。そこで暮らす村の皆さんが、これからも安心して安全に暮らせるよう、全力で治安の維持に努めて参りたいと思っておりますので、夫婦共々どうぞよろしくお願いたします。



編集後記

新型コロナウイルス感染症はウイズコロナからアフターコロナと言われるようになりましたが、経済や人間関係など社会生活にもたらした影響はまだまだはかり知れない状況にあります。

地方議会では新型コロナウイルス感染症の流行により委員会などをオンラインで開催したことがある議会が9%（共同通信アンケート）あったそうです。オンラインの議会開催は大規模災害など非常時対応の強化や、議員のなり手不足解消策として期待される面もあるようですが、導入には財源やデジタル人材の不足など難しい状況です。しかし、これからの議会は多様化する住民とのコミュニケーション手段として、デジタル技術等を活用した議会運営や情報発信が必要な時代になるのではないのでしょうか。

（編集委員 黒田まり子）

編集委員

委員長	丸山 敏雄
副委員長	津久井俊雄
委員	黒田まり子
委員	角田 宣治
委員	新木 敏郎